

元気なまちかど

No.1

古文書から歴史を知る 古文書講座初級編「古文書を読みだしてみよう」

古文書講座初級編が1月5日、甲南図書交流館で開催され、40人が参加しました。

古文書は、くずし字を読み解く楽しさとともに、地域の歴史や当時の生活などを知る楽しさが両方味わえるものです。この講座は、初めて古文書を学ぶ方を対象に、読みやすいものや市内の歴史に関わるテキストを選んで、読むことに重点を置いた全4回の講座となっています。

参加者は、実際に古文書を手にとり、一文字ずつ文字をたどりながら熱心に古文書の説明に耳を傾けていました。



▲講師から古文書の説明を受ける参加者

No.2

大きな紙に新年の思いを込めて 新春かきぞめ大会

新春かきぞめ大会が1月7日、かふか生涯学習館で開催され、市内の小学生15人が参加しました。

児童らは、地域で筆文字の素晴らしさを伝えている和田佳代子さんのアドバイスを受けながら、新年の思いを込めて筆を走らせた。それぞれに作品を仕上げると、最後はみんなで、縦3メートルと同5メートルの大きな紙に、ほうき筆を使って、「とり」「鳥年かきぞめ」と書き上げました。

出来上がった作品は、1月末まで甲賀図書情報館の市民ギャラリーで展示され、訪れる人を楽しませました。



▲ほうき筆を使って書き上げる児童

No.3

新成人の門出は生まれ育ったまちで 甲賀市成人式

平成29年甲賀市成人式が1月8日、あいこうか市民ホールで行われ、787人の新成人が参加しました。

新成人を代表して、中川哲太さんと中村明香さんが「今まで私たちを支え、守り、育ててくれた皆さんへの気持ちと甲賀市で成人を迎えられたことを決して忘れません。成人としての自覚と決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。

会場では、スーツやはかま、艶やかな振袖などを着た新成人の成人を迎えた喜びの笑顔があふれていました。



▲新成人の誓いの言葉を述べる中川さんと中村さん

No.4

鬼の的にめがけて「鬼は外」 キッズランド「節分あそびと制作」

未就園児のお子さんとその保護者を対象にした子育てひろばキッズランド「節分あそびと制作」が1月12日、土山子育て支援センターで開催されました。

子どもたちは、節分の豆まきで使う豆入れを牛乳パック等で制作した後、豆に見立てたお手玉を鬼の的に投げるゲームを楽しみました。

キッズランドは、親子が楽しく遊んだり触れ合ったり、親同士も交流できるひろばです。市内5つの子育て支援センターで毎月季節を感じる遊びが開かれていますので、ぜひご利用ください。

であいこうか

DEAI
KOKA

うれしさも悔しさもみんなで

水口中学校 陸上部
なかおさえ
中尾紗英さん

12月18日に県希望が丘文化公園で開催された第24回全国中学校駅伝大会に滋賀県代表の水口中学校メンバーとして出場し、1月15日に京都で開催された皇后杯第35回全国都道府県対抗女子駅伝に滋賀県代表の8区で出場した中尾さんにお話を伺いました。



INTERVIEW

▶初めて滋賀代表として出場が決まった時の気持ちは?

昨年の大会は先輩である飛田さんの応援で京都まで行き、その時から滋賀代表として私も京都で走りたいという思いがありました。今回選出された3人の中学生の中で2人しか出場できないので、大会1週間前に出場を告げられた時は、ついに自分が京都を走れるというワクワク感でいっぱいでした。



▲力走する中尾さん

▶雪の中の全国女子駅伝での走りはどうでしたか?

大会当日は、雪の影響で競技場から各区間のスタート地点への移動時に開催が決定するほど開催自体がギリギリまでわからない状態でした。当日は、水口中学校のチームメイトも応援に駆け付けてくれたおかげで、リラックスして7区の選手を待つことができました。チーム目標の25位以内は意識していましたが、混戦のレースだったので順位よりもまず目の前の選手についていき、自分の走りをするだけを考えていました。

▶駅伝や陸上の魅力は何ですか?

駅伝は、みんなのために走るという思いがあるから頑張れる競技で、今年はいれさも悔しさもチームみんな味わいました。中学での陸上は、毎日が楽しい思い出。先生とチームメイトが、陸上の楽しさを教えてくれました。先生からは、レース前にもいつも「楽しんでこい」って送りだしてもらい勇気づけられていました。高校でもその言葉を胸に陸上を楽しんで、また京都を走りたいです。



▲全国大会出場壮行会